

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 地 域 共 生 社 会

橋 村 直 隆

(橋村医院 院長)

昨年、父が93歳で他界いたしました。20年ほど前、巻頭言に投稿した際には鹿児島南薩摩の風景を交え、生まれ故郷の良さを懐かしく語っていました。一昨年前までは元気に暮らしていましたが、転倒し起きられなくなってから大国町の自宅で介護を受けるようになり、訪問介護や入浴サービスなど多くのスタッフの方にお世話になりました。自宅での看取りができ本当にありがとうございました。91歳まで独居で過ごすことができたのも介護サービスのおかげでした。本人や家族の意向を汲んでケアプランを作成していただいたケアマネージャーの力によるものです。

2000年より始まった介護保険法は社会保障の一環として「介護は家族の問題」から「社会で支えるシステム」へと変遷してきました。平均寿命が伸びたこと、寝たきり老人や認知症になった高齢者の増加が大きな一因となりました。

2005年「地域包括ケア」の概念が掲げられ、「地域包括支援センター」が生まれました。2014年「医療・介護総合推進法」の成立により2015年度から介護保険は大きく変化しました。第1のポイントは「地域密着・包括システムの構築」です。急速に少子高齢化が進み、地方において地域格差が広まったため

す。画一的なサービスを提供するのではなく各地域の実情に合ったシステムを構築することが求められました。第2のポイントは「利用者負担の公平化」でした。増大する医療介護費を抑制するため所得の高低に応じ負担割合が変更されました。

「地域包括ケアシステム」とは市町村や都道府県が地域の特色・需要に応じ主体的に医療・介護の供給を提供する体制のことです。日本では高齢化が急速に進行し65歳以上の人口は3000万人を超えており2042年には3900万人でピークを迎えることが予想されています。このような状況下で団塊の世代が75歳以上になる2025年以降は医療・介護の需要がさらに増大すると見込まれています。要介護状態となった住民が住み慣れた土地で自らの意思で自分らしい生活を最期まで続けられる環境を提供する社会システムが必要になっています。「地域ケア会議」で、日常生活圏域ニーズ調査（地域の実態把握）や事例検討を通じて浪速区の問題点が提起されました。課題の抽出により地域資源の発掘・人材育成・啓蒙活動を通じ、住民参画の計画を作成・決定・実行するプロセスの繰り返し、社会から取り残された要介護者のセーフティーネットになります。地域包括ケアシステムでは住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できます。そのためにはそれぞれの担い手が互いに連携しながら継ぎ目のない体制を構築する必要があります。大阪市では2017年度より「高齢者が疾病を抱え、医療と介護の両方を必要とする状態」になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期までつづけることができるよう、関係



者の連携を支援し医療・介護が切れ目なく提供できる体制づくり」を目的に在宅医療・介護連携支援コーディネーター配置を推進しています。浪速区医師会においても相談支援室を設置し、医療・介護の情報共有や顔の見える関係の構築・橋渡し役を担っています。

大阪市浪速区は人口 69,766 人、65 歳以上の高齢化率 19.4%です（平成 27 年データ）。平均寿命は男性 75.9 歳・女性 84.4 歳（大阪市各 77.4 歳・85.2 歳、国各 79.6 歳・86.4 歳）、健康寿命（日常生活動作が自立している期間により算定）は男性 73.52 歳・女性 80.15 歳（大阪市各 76.12 歳・81.86 歳、国各 78.17 歳・83.16 歳）です（平成 22 年データ）。浪速区は大阪市において平均寿命・健康寿命ともに 2 番目に短命となっています。また浪速区は総世帯数に対し一人暮らし世帯の割合は約 73%と大阪府で最も高くなっており、特に高齢単身世帯（5303 世帯）は高齢世帯の 78.1%を占めます。浪速区の特徴として古くからの住民同士のつながりは強いものの、逆に単身高齢者が阻害される傾向にあります。都市部における単身高齢者の生活類型には、1. 多重困難型／人間関係が悪く経済的にも困窮 16.7% 2. 外出困難型／外出できない状態でも経済的人間関係も良好 23.6% 3. 経済困窮型／経済状況が悪く不安を抱えているが人間関係は良好 15.3% 4. 関係困難型／人間関係に満足していないが生活に不満がない 18.9% 5. 生活安定型／金銭面も人間関係も不安はない 25.5%で、類型 1 と 3 が約 3 割を占め、貧困と孤立状態にある単身高齢者とみられます（高齢者の社会的孤立と貧困の実態。明治学院大学社会学部教授河合克義氏論文より引用）。この割合から浪速区ではおおよそ 1500 世帯が経済的孤立状態にあると推察されます。

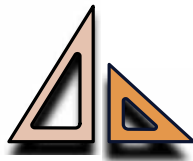
地域ケア会議を通じ、個別事例では金銭的トラブル、親子孫関係、ごみ屋敷問題、虐待・障がい者問題、犯罪（覚せい剤等）など高齢世帯にかかわらず子育て世代も含めた問題提起がなされ、地域包括ケアサービスでは解決できない問題が見えてきました。従来の縦割りサービス「高齢者→介護サービス、障がい

者→障害福祉サービス、子ども→子育て支援」では地域の多様化、複雑化に適さなくなってきています。

2016 年 6 月「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定されました。介護の環境整備に盛り込まれたのが「地域共生社会」です。地域共生社会とは「子ども・高齢者・障がい者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる社会」であり、福祉の概念を変えコミュニティの強さを掘り起こすことが目的です。地域住民が「我が事」として取り組み、自治体が「丸ごと」相談支援できる体制整備を進めていく必要があります。浪速区でも 2018 年度より「地域生活支援コーディネーター」の配置を進めています。地域共生社会においては、公的な福祉だけに頼るだけでなく地域に暮らす人たちが共に支えあう社会にしていこう、誰にも相談できないまま孤立し問題が深刻化する前に解決していこう、ということです。一見住民にとってハードルが高いようにも見えますが、「声かけ」一つから始めることができます。地域で孤立している人の早期発見にもつながります。またボランティア活動（ふれあい喫茶など）も地域にとって必要です。このように少子高齢社会の中で地域の担い手を住民一体となって支え、育てていくことが重要です。

地域包括ケアシステムにおける医師は、かかりつけ医として患者の終末期まで寄り添い、関係機関と連携し多職種共同により医療・介護を一体的に提供できる体制のリーダーシップを発揮しなければなりません。地域共生社会においては自らも地域の一員として参加し、行政のみならず、自治会、民生委員、NPO、ボランティアなどメンバーと協同し、高齢者を含めた住民の社会参加・健康管理・疾病予防早期発見に努め、地域密着型の医療体制を構築していく努力が必要です。その結果、浪速区医師会主導のブルーカードや A ケアカードが地域共生社会のメディカルセーフティーネットとして浸透していくことを期待します。

## 理事会報告



### ◎平成 29 年度 2 月定例理事会

日 時 平成 30 年 2 月 23 日〈金〉

午後 8 時～午後 10 時

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

#### 1. 次年度理事会開催予定日について

＜澤井会長＞

次年度理事会の開催予定日を資料のとおりとしたい。

協議の結果、了承。

#### 2. コホート検討会の委員について

＜澤井会長＞

次年度の標記委員について、協議願いたい。

協議の結果、就任を希望する理事がないため、竹中理事に引き続き依頼することに決定。

#### 3. 毎日新聞健康コラム「ご近所のお医者さん」への寄稿依頼について ＜澤井会長＞

府医より、標記コラムへの寄稿依頼があった。  
詳細は次のとおり。  
毎日新聞（大阪版）朝刊・毎週火曜日  
字数：700～800 字 締切：3 月末

協議の結果、入野理事が執筆することとなった。

#### 4. 大手前病院地域医療支援病院運営委員会（3 月 1 日〈木〉午後 2 時）への出席者について ＜澤井会長＞

標記委員会への出席者を決めたい。開催

場所は大手前病院である

協議の結果、澤井会長に決定

#### 5. 大阪府産業保健活動推進協議会合同会議（3 月 1 日〈木〉午後 2 時）への出席者（2 名まで）について ＜澤井会長＞

標記委員会への出席者を決めたい。開催場所は府医である。

協議の結果、竹中理事に決定。

#### 6. 第 30 回医療情報に関する講演会（3 月 8 日〈木〉午後 2 時）への出席者について

＜澤井会長＞

標記講演会への出席者を決めたい。開催場所は府医である。

協議の結果、久保田副会長、福永理事に決定。

#### 7. 茂松茂人執行部を支援する会への出席者（3 月 14 日〈水〉午後 9 時）について

＜澤井会長＞

標記会合への出席者を決めたい。場所はシェラトン都ホテル大阪 4 F「浪速の間」である。

協議の結果、澤井会長、有田副会長、徳田副会長、久保田副会長、佐久間監事に決定。

#### 8. 大阪警察病院地域医療支援病院運営委員会（3 月 15 日〈木〉午後 2 時）への出席者について

＜澤井会長＞

標記委員会への出席者を決めたい。場所は大阪警察病院である。

協議の結果、澤井会長に決定。

#### 9. 浪速区三師会（3 月 17 日〈土〉午後 6 時）への出席者について

＜澤井会長＞

標記三師会への出席者を決めたい。詳細

は次のとおり。

幹事：薬剤師会 場所：ホテルモンテレ  
グラスミア大阪 会費：1万円  
各会 10名ぐらいの参加依頼である。

協議の結果、出席者は次のとおりに決定。  
澤井会長、有田副会長、徳田副会長、  
久保田副会長、橋村理事、木田理事、  
中村理事、山田理事、竹中監事、佐久  
間監事 以上 10名。

10. 郡市区等医師会社会保険担当理事連絡協  
議会（改定点数説明会）（3月20日〈火〉  
午後2時）への出席者（4名まで）につ  
いて <澤井会長>  
標記協議会への出席者を決めたい。場所  
は府医である。

協議の結果、有田副会長、徳田副会長、  
橋村理事、佐久間監事に決定。

11. 日本医療ネットワーク協会（千年カルテ）  
への参加について（2月5日〈月〉）  
<久保田副会長>  
「千年カルテ」とは、京都大学の吉原博幸  
先生を中心とした日本医療ネットワーク  
協会（非営利団体）が取り組んでいるプロ  
ジェクトである。  
この「千年カルテ」は、おおそAケア  
カードシステムのような医療情報等の共  
有システムであるが目的は下記のとおり  
である。

- ①地域医療連携（病診連携）の統合と安価  
な提供
  - ②患者へのデータ提供
  - ③医学研究、臨床研究へのデータ利用
- 吉原先生より、Aケアカードシステムと  
連携し、千年カルテに参加しないかとい  
う提案があった。  
本会として参加するか否かについて、協  
議願いたい。

協議の結果、本会としては了承。

ただし、在宅連携協議会での了承を得  
ることとした。

12. 平成30年度上半期中央急病診療所出務  
割当について <原田理事>  
資料のとおり、案をまとめた。

協議の結果、了承。

13. 本会30年度予算・事業計画について  
<木田理事>  
資料のとおり、案をまとめた。

協議の結果、了承。

14. 本会「改定点数説明会」（3月29日〈木〉）  
の役割について <岡藤理事>  
役割を決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

司会：岡藤理事 説明：徳田副会長

15. その他

- (1)平成30年度定期総会の日程について  
<澤井会長>  
総会の日程を決めたい。

協議の結果、次のとおりに決定。

日時：5月26日〈土〉午後2時

場所：本会

#### 報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について  
（2月23日〈金〉） <澤井会長>  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷会長挨拶  
▷連絡事項  
(1)平成30年4月1日以降の要介護認定  
制度等（介護認定審査の簡素化ほか）  
の件  
(2)介護予防活動普及展開事業手引きの件  
(3)結核に係る定期健康診断の実施及び報

- 
- 告書提出の周知の件
- (4) 都道府県単位による国保広域化の件
- (5) 大阪府立学校医及び産業医の推薦に関する件
- (6) 3月度行事・会合日程の件
- ▷協議
- ▷閉会
- (詳細 略)
2. 大阪市医師会連合会委員会について  
(2月19日<月>) <澤井会長>  
次第は次のとおり。
- ▷協議事項
- (1) 平成30年度事業計画(案)の件
- (2) 平成30年度歳入歳出予算(案)の件
- (3) 平成30年度会議日程(案)の件
- ▷連絡事項
- (1) 在宅医療・介護連携に関する医療関係者の実態調査実施の件
- (2) 平成30年度大阪市肝炎ウイルス検査個別実施の件
- (3) 大阪市手話に関する事業の件
- (4) 平成30年度大阪市保健事業の件
- (5) その他
- ▷報告事項
- (1) 大阪市南部保健医療協議会(1月24日)報告の件
- (2) 大阪市障がい支援区分認定審査会合議体連絡会(1月25日)報告の件
- (3) 第3回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉部会(2月8日)報告の件
- (詳細 略)
3. 平成30年度「ごみ屋敷」課題解決推進事業精神科医委嘱について <澤井会長>  
浪速区役所より、標記事業に係る精神科医の委嘱依頼があった。  
担当者より、早急な回答を求められたため、下記の会員に承諾を頂いた。  
医療機関名：桜川ものわすれクリニック  
名前：山本大介医師
4. 自見はなこ参議院議員を囲む会について  
(2月18日<日>) <澤井会長>  
つる家なんばダイニングメゾン店にて開催された。  
参加者と様々な意見交換をし、盛会であった。出席者は本会から10名、大正区医師会から2名、宇治市医師会から1名の参加もあり、合計14名となった。  
(詳細 略)
5. 特定健康診査・特定保健指導担当理事連絡協議会について  
(2月8日<木>) <有田副会長>  
次第は次のとおり。
- ▷開会
- ▷説明
- (1) 平成30年度(第3期)における特定健康診査・特定保健指導の変更点
- (2) 質疑応答
- ▷閉会
- (詳細 略)
6. 日本能率総合研究所在宅医療・救急医療連携セミナーについて  
(2月4日<日>) <久保田副会長>  
本セミナーにはファシリテーターとして参加、東京のビジョンセンター浜松にて開催された。  
次第は次のとおり。
- ▷開際挨拶
- ▷講義 「アドバンス・ケア・プランニングとはなにか？」
- ▷質疑応答
- ▷事例発表 先進事例に学ぶ在宅医療・救急医療連携の取り組みと成果  
事例①「在宅医療介護救急システムAケアカードシステム」  
事例②「佐世保市の救急搬送における在宅医療との連携について」
- ▷質疑応答
- ▷グループワークの進め方
- ▷グループワーク①・②
- ▷発表・討議
-

▷閉会挨拶

(詳細 略)

(3) 第3号議案 総会開催の件

(4) 追記

(詳細 略)

7. 日本医療ネットワーク（千年カルテ）との  
面談について

(2月5日<月>) <久保田副会長>

協議事項 11 参照

8. 医療情報委員会について

(2月8日<木>) <久保田副会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷報告事項

(1) 医師資格証の提示による医師の資格確  
認について

(2) 平成 29 年度日本医師会医療情報シス  
テム協議会（2/3・4）について

(3) その他

①日本医師会・滋賀県医師会主催「地  
域医療連携フォーラム」(2/10)

②医療情報学連合大会（11/20～  
11/23）について

▷協議事項

(1) 諮問事項について「医療制度におけ  
る ICT 化の問題点について」

(2) その他

▷次回日程

①医療情報に関する講演会 平成 30 年  
3月8日<木> 午後2時～

②医療情報委員会 平成 30 年  
3月8日<木> 上記講演会の終了後～

▷閉会

(詳細 略)

9. 四天王寺病院開放型病院第 19 回運営委員  
会について

(2月3日<土>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷委員長挨拶

▷審議事項

(1) 第1号議案 運営委員名簿 内容確認  
の件

(2) 第2号議案 新規退会登録医の件

10. 認知症施策推進会議について

(2月9日<金>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷浪速区の認知症高齢者の実態

▷認知症初期集中支援推進事業の実績報告

▷認知症に関する取り組み

▷ご意見等

(詳細 略)

11. 第4回地域包括支援センター運営協議会  
について

(2月9日<金>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷議題

(1) 浪速区地区診断

(2) 総合相談実績

(3) 随時地域ケア会議実績

(4) 地域ケア会議から見えてきた課題のま  
とめ

(5) その他

(詳細 略)

12. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議につ  
いて

(2月21日<水>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷在宅医療介護講演会（パネルディス  
カッション）について

▷その他

(詳細 略)

13. 認知症講演会について

(2月23日<金>) <橋村理事>

来場者数は約 175 名であった。次第は次  
のとおり。

▷第1部 認知症講演会

(1) あいさつ

(2) 基調講演

座長 橋村直隆

講師 鍵本伸明（ナンバかぎもとメンタル  
クリニック 院長）

演題 「心療内科から見た認知症とは」

(3) 質疑応答

(4) 認知症に関する相談窓口について

▷第2部 在宅医療介護講演会

(1) あいさつ

(2) パネルディスカッション

「地域との協働をめざして」

(3) Aケアカードの報告について（15分）

「スタートから1年～Aケアカードの  
実力」

演者 藤吉理夫（なんば南藤吉医院  
理事長）

▷まとめ（全体） （詳細 略）

14. 勤務医部会第8～11ブロック合同懇談  
会について

（2月8日〈木〉） <富永理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷報告

(1) 平成29年度大阪府医師会役員と勤務  
医部会役員との懇談会

(2) 平成29年度全国医師会勤務医部会連  
絡協議会

(3) 平成29年度在阪5大学医師会役員な  
らびに2行政医師会役員と勤務医部会  
役員との懇談会

▷講演

テーマ「昆虫が媒介する感染症について」

(1) 「蚊媒介性感染症」

(2) 意見交換

▷閉会

（詳細 略）

15. 郡市区医師会医業経営担当理事連絡協議  
会（税務説明会）について

（1月31日〈水〉） <木田理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷説明

(1) 平成29年分の確定申告の留意点等につ  
いて

(2) 「平成29年分の確定申告」ならびに中  
央情勢について

▷その他

▷閉会 （詳細 略）

16. 税務講習会について

（2月7日〈水〉） <木田理事>

次第は次のとおり。

▷浪速区医師会長 あいさつ

▷浪速税務署長 あいさつ

▷税務署からのお願い

▷説明「平成29年分の確定申告について」

▷その他

▷閉会

本会20名、歯科医師会4名、薬剤師会1  
名の合計25名の参加であった。

（詳細 略）

17. 「Face-to-Face の会」世話人会議について

（2月17日〈土〉） <木田理事>

次第は次のとおり。

▷前回世話人会議事録報告

▷前回第35回「Face-to-Face の会」報告

▷今回第36回「Face-to-Face の会」に  
ついて

▷その他

（詳細 略）

18. 予算委員会について

（2月19日〈月〉） <木田理事>

協議事項13 参照

19. 病診連携委員会について

（1月29日〈月〉） <入野理事>

次第は次のとおり。

▷第84回病診連携委員会報告について

▷大阪医療センターの地域連携や取り組  
みについて

▷本会の在宅医療連携の現状について

▷その他

（詳細 略）

20. コホート研究会について  
(2月2日〈金〉) <竹中理事>  
内容は次のとおり。  
▷症例検討  
▷ディスカッション

(詳細 略)

21. 医療問題研究委員会について  
(2月9日〈金〉) <福永理事>  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷委員プレゼンテーション  
テーマ 超高齢化社会に突入した日本人の End of Life  
▷今後の予定  
▷閉会

(詳細 略)

22. その他  
なし

次回理事会

平成30年3月23日〈金〉 午後8時～



## 2月 学術講演会報告

日 時 2月17日〈土〉 午後2時  
演 題 「プライマリケアにおける上腹部症状を有する患者の診断と治療～胃食道逆流症(GERD)を中心に～」  
講 師 市立柏原病院 消化器内科 部長 奥山 正嗣 先生  
出席者数 11名  
共 催 大塚製薬株式会社  
情報提供 多発性嚢胞腎に対する治療薬トルバプタンについて  
担 当 富永良子

日常診療で心窩部痛や胸やけなどの上腹部症状を有する患者に遭遇することは消化器内科医でなくてもまれではない。食生活の欧米化やヘリコバクターピロリ感染率の低下など様々な要因で近年わが国では上部消化管疾患は変遷してきており、消化性潰瘍や胃癌が占める割合は減少し、胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease: GERD)や機能性ディスぺプシア(functional dyspepsia: FD)が占める割合が増加してきている。

1. 機能性ディスぺプシアの診断と治療  
機能性ディスぺプシアは症状の原因となる器質的疾患がないにもかかわらず慢性的に上腹部症状を呈する疾患であり、その病態には多因子が関与しているとされている。治療は酸分泌抑制薬や消化管運動機能改善薬が中心となる。機能性消化管疾患診療ガイドラインについて解説し、FDの病態や治療について概説した。

2. 胃食道逆流症の診断と治療  
胃食道逆流症は胃食道逆流(gastroesophageal reflux: GER)により引き起こされる食道粘膜傷害と煩わしい症状のいずれかまたは両者を引き起こす疾患である。上述したように近



年わが国でも増加傾向という報告が多く、当院人間ドックでのGERDの有病率を検討したのでその結果についてご紹介し、改訂されたGERD診療ガイドラインについて解説し、GERDの診断・治療について概説した。

### 3. PPI抵抗性GERDの背景因子

GERDに対する治療はプロトンポンプ阻害薬(PPI)が中心となるが、標準量のPPI治療に反応しないPPI抵抗性GERDを少なからず経験する。当院でPPI抵抗性GERDの頻度や背景因子について検討したのでその結果についてご紹介した。

### 4. GERDと睡眠障害

PPI抵抗性GERDは多数の因子が関与していると考えられるが夜間逆流・睡眠障害はその一つである。GERD患者の半数以上が何らかの睡眠障害を有しており、特に非びらん性胃食道逆流症(NERD)患者に多い。夜間逆流は、胸やけ症状・覚醒や起こる時間帯により入眠困難、中途覚醒、早朝覚醒、熟眠障害をきたす。一方、睡眠障害が食道知覚過敏を介してGERD症状を悪化させることから、GERDと睡眠障害は相互関連があると考えられている。GERDと睡眠障害の関連、睡眠障害に対するPPIの治療効果について概説した。

### 5. PPI抵抗性GERDに対するボノプラザンの効果

2015年3月に保険承認された新しい酸分泌抑制薬であるボノプラザンは既存のPPIより胃酸分泌効果が高いとされている。GERD診療ガイドラインではPPI抵抗性GERDに対してPPI倍量投与や他剤との併用などが示されているが、ボノプラザンへ変更した場合の治療効果についての報告は多くない。当院でPPI抵抗性患者に対してPPIをボノプラザンに変更し症状改善度や夜間症状・睡眠障害の変化について検討したのでその結果をご紹介した。

### 6. 専門医に紹介すべきGERD患者

非びらん性GERDについては、機器や診断の進歩により病的な酸逆流と関連しない逆流過敏症や機能性胸やけとの鑑別が可能となり、疾患概念が変化しつつある。GERD診療ガイ

ドラインで専門治療が必要とされているケースについて解説した。

## 4 月度学術講演会のお知らせ

4月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成30年4月21日(土)

午後2時～4時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「CKD マネジメント～尿酸・血圧・脂質等に関して～」

講師：独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター 腎臓内科 科長

岩谷 博次 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



## 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

2月の相談件数は、6件ありました。かかりつけ医の相談があり、医師会の在宅ネットワークを利用させて頂きました。専門科が必要な場合は、個別に診療所に連絡、相談させて頂いております。今月の相談事項で在宅での輸血に関して施行している医療機関をネットワークで探していただいた所、2医療機関が対応するとのご返事を頂きました。浪速区、また他区の医療機関、介護事業所からの新しく始めた事柄などありましたらお知らせ頂ければ幸いです。医療資源として登録しこれからの相談事項の参考とさせていただきます。宜しくお願いします。

### 相談受理実績

#### ■ 個別ケースに関する相談（H30.2月度）

① 医科	1 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	0 件
④ 病院 地域連携相談室	3 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	0 件
⑦ 地域包括支援センター	0 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	2 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他（ ）	0 件
合 計	6 件

#### ■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	0 件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	5 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0 件
	⑥ 訪問看護に関して	0 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	1 件
② 介 護	① ケアマネに関して	0 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	0 件
	④ 介護の手続きに関して	0 件
	⑤ その他	0 件
	③ 退院支援に関して	0 件
	④ 看取りに関して	0 件
	⑤ その他（内容： ）	0 件
	合 計	6 件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室  
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B  
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成30年4月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 3歳児健康診査

●保健福祉センター

4月26日(木)午後1時40分～3時30分

小児科 本田 秀明

眼科 吉野 成泰

耳鼻科 中村 泰久

### 1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

4月5日(木)午後1時40分～3時30分

川田 信哉

### BCG接種

●保健福祉センター

4月19日(木)午後2時～3時30分

北村 栄作・橋村夏野子

### 急病診療所出務

●中央急病診療所

4月29日(日)準夜17:00～22:00

菱川 秀夫・杉浦 清史



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



**大阪府医師協同組合**  
<http://www.omca.or.jp>

[本部] 大阪府中央区上本町西3-1-5 〒542-8580  
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東3-2-26 堺市医師会館1F 〒590-0953  
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

この他にも、さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



### 医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



### く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

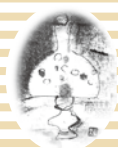
- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー・パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



### 保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- 損害保険・生命保険(団体割引有)



## あとがき

中村 泰久

3月に入り急に暖かい日が増えてきて、そろそろゴルフに行きたくてうずうずしてきました。それに伴い花粉の飛散が例年以上に飛び始めたようで、ここ2年ほど飛散量が少なかった反動でしょうか、患者さんが一気に増えてきました。しかも例年よりも症状の重い患者さんが多く、お薬を考えるのも一苦労しております。患者さんには本当に申し訳ないですが、われわれ耳鼻咽喉科医にとっては今年はありがたい年になりそうです。(花粉症の先生方すみません)

さて、今回の巻頭言は浪速区医師会の在宅医療担当理事の橋村先生です。先代の先生から続く、地域に根ざした患者さん想いの先生で、医師会の仕事の中でもとりわけ重要な在宅介護の理事として非常に精力的に取り組んでおられ、なんにもしていない幽霊理事の私からしたら本当に頭が下がる思いです。

そんな私ですので大変勉強不足で申し訳ないのですが、巻頭言の橋村先生も書かれていますが、地域包括ケアシステムは縦割り行政のシステムの中では決して実現せず、医師、薬剤師、ケアマネ、さらに行政がお互いに情報を共有し活用できてはじめて上手く機能していくものではないでしょうか？これから私もできる限りの協力をさせて頂きたいと思います。Aケアカードも含め画期的なシステムの構築を目指している浪速区医師会で理事をさせていただいて本当に光栄に思います。

これからも微力ながら医師会に協力させて頂きたいと思います



目次	ページ
巻頭言	
地域共生社会	橋村 直隆 1
理事会報告(2月開催)	3
2月度学術報告	富永 良子 8
4月度学術講演会のお知らせ	9
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	10
浪速区医師会活動の伝言板	11
あとがき	12

### 【区医だより】

発行者 澤井貞子  
編集者 中村泰久 山田郁子  
印刷所 株式会社 サビ